

【杭州西溪国家湿地公园】

杭州市の自然について学べる場所のひとつである杭州西溪国家湿地公园へ行ってきました。杭州市の中心となる街から西へ6 km程のところにある、国家AAAAA級景区（観光区）の国家公園です。



写真の1番奥に見える緑の地域が西溪国家湿地公园です。（左側が入り切りませんでした。）

自転車で写真を撮りながら外側を1周したら1時間半ほどかかりました。

敷地面積は60 km²、保護されている湿地の面積は11.5 km²、その内観光地として開放されているのが3.46 km²です。

湿地を巡る観光船や昔の街並みを楽しめる他、湿地博物館で自然について学ぶこともできます。

●入口と観光船

とても広いので、東西南北それぞれに入口があります。有料地域と無料地域があり、船に乗るには入場券（大人80元/人）と船（電瓶船）のチケット（大人60元/人）が必要です。また、有料地域は2つに分かれていて、それぞれの地域のチケットを買わなければなりません。船は電瓶船の他、揺櫓船（手漕船：100元/船/1時間、2人以上から）があります。



東西南北の入口には立派な表示があります。



電瓶船乗り場（周家村入口近く）

当初、ガイドさんの話を聞きたくて、街中からの1日ツアーに参加しようと思っていたのですが、ツアー自体が催行しなくなったということで、個人で行って来ました。現地に専属のガイドさんはおらず、船上で簡単に案内をしてくれるガイドさんのみでした。案内の合間に少しだけ話を聞いたところ、大学生でアルバイトとしてガイドをしている方でした。



船上ガイドさん（お仕事中です。）



秋は船上から見る薄（すすき）がお勧めです。

●中国湿地博物館

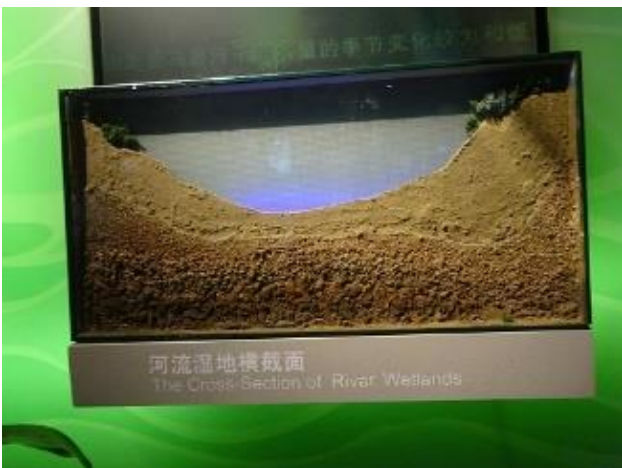
無料地域にある、無料で見られる施設ですが、とても充実している展示内容でした。



この右手の丘の中に博物館があります。



湿地について学べる仕掛けがたくさん！



湿地の成り立ち（本物を使った断面図で表現）

中国には多くの湿地があり、その中でも重要な湿地が自然保護区として指定されています。

- ・ 黑龙江扎龙自然保护区
- ・ 吉林向海自然保护区
- ・ 海南东寨港自然保护区
- ・ 青海鸟岛自然保护区
- ・ 江西鄱阳湖自然保护区
- ・ 湖南东洞庭湖自然保护区

各地域の特別な生物なども併せて、しっかりと作り込まれて展示してありました。

●自然について

冬も間近の時期でしたが、咲いている花もありました。やはり自然豊かです。

大きな道路に囲まれていることと、現在、杭州では地下鉄の工事などがあちらこちらで実施されているので静かな環境ではありませんが、耳をすませば鳥の声や虫の声、魚が跳ねる水音などが聞こえてきます。また、自然を学ぶための方法もいくつか見られました。



数種類の水草群生地



ツワブキも咲いていました。



シキチョウ（四季鳥）



クイズ形式の案内板（回すと答えが解る）

●その他

『生態文化体験基地』や『生態系統回復示範工程』など、自然環境について専門的に行っている施設がありました。観光地となっている場所と比べると人が少なかったですが、身近にこういうものがあるということが大切なのかなと思いました。

標識も見たい目がかわいらしいものがありました。



留学生活も残り半分となりました。この3ヶ月があつという間だったので、残り3ヶ月はもっと早く感じるのではないかと思います。悔いのないように1日1日を大切に過ごそうと思います。